



2024年9月20日

各 位

会社名 : 株式会社じもとホールディングス  
(コード番号: 7161 東証スタンダード市場)  
代表者名 : 取締役社長 鈴木 隆  
問合せ先 : 総合企画部長 小林 祐介  
(TEL. 022-722-0011)

#### 新中期経営計画の策定について

当社及び当社連結子会社である株式会社きらやか銀行（以下「きらやか銀行」といいます。）と株式会社仙台銀行（以下「仙台銀行」といいます。）は、このたび、新たなグループ経営指針となる新中期経営計画（計画期間：2024年度～2026年度）を策定しましたのでお知らせいたします。

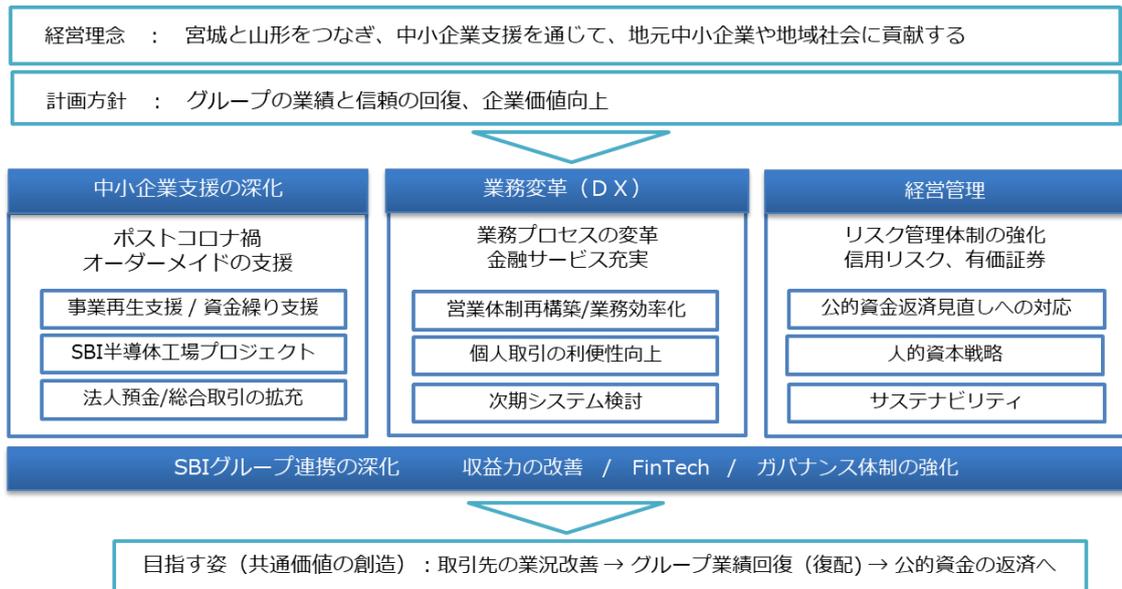
なお、本計画は、本日付で金融庁において承認となりました「金融機能の強化のための特別措置に関する法律」に基づく、当社グループの震災特例及びコロナ特例にかかる「経営強化計画」の内容を含めております。

以 上

# 1. じもとホールディングスの計画概要

## 1-1 経営理念と目指す姿

- (1) 経営理念である「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域社会に貢献する」のもと、「グループの業績と信頼の回復、企業価値向上」を計画方針とし、「中小企業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」を、SBIグループと連携しながら取り組んでまいります。
- (2) これらの取り組みを通じて、取引先業況の改善、グループ業績回復、公的資金返済へつなげる「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。



## 1-2 ステークホルダーの期待と本計画で実現すること

大幅な赤字決算と無配、公的資金の返済見直しなどを踏まえ、ステークホルダーが当社グループへ期待すること、本計画で実現することを明確にし、ステークホルダー目線で施策を実行してまいります。

前計画での出来事	ステークホルダー	じもとグループへの期待	本計画で実現すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ特例公的資金受入れ</li> <li>大口取引先の倒産</li> <li>多額の赤字決算・無配</li> <li>公的資金返済の見直し</li> </ul>	中小企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜共通事項＞</li> <li>自社への経営支援 新たなビジネス機会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーダーメイドの企業支援</li> <li>・SBI半導体工場の地域波及効果</li> <li>・地域の創業支援へ注力</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>SBI半導体工場プロジェクト</li> <li>女性職員が多分野で活躍</li> <li>性別・経歴等に係らない人材登用</li> </ul>	個人利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>着実な業績回復 経営の安定化</li> <li>新たな金融サービス 安心と利便性向上 いつも身近な存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBIのシステム、サービス導入</li> <li>・電子契約、スマホ取引の拡充</li> <li>・資産運用、相続のコンサル相談充実</li> </ul>
<p>新計画の方針 グループの業績と信頼の回復</p>	投資家株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営の自律性回復</li> <li>株価の回復 SBI提携の効果発揮 環境問題等への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒字回復、復配、PBR・ROEの改善</li> <li>・半導体工場効果、ガバナンス強化</li> <li>・サステナブルファイナンス強化</li> </ul>
	従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の経営方針 具体化、明確化</li> <li>多様な自己実現機会 一層の業務変革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手職員、女性職員の活躍と抜擢</li> <li>・シニア世代のノウハウ活用</li> <li>・適正人員配置、DX活用の拡大</li> </ul>

## 2. きらやか銀行の計画概要

### 2-1 経営理念と目指す姿

- (1) 経営理念である「地域と共に生きる」のもと、新中期経営計画では、「きらやかの“想い”をひとつに、地元“信頼”され、ともに将来を創る銀行」を目指してまいります。
- (2) 新経営陣は、「取引先の期待・信頼の回復」を重要課題に位置づけ、多額の赤字決算に至った当行の企業風土の問題を真摯に受け止め、役職員の意識と行動を変えることが必要と認識しております。

### 2-2 基本方針と施策 — 考動改革「意識を変える・行動を変える」 —

#### (1) 財務基盤の強化

- ・地元のお客さまと膝と膝を突き合わせる「地元密着営業戦略」と、広域営業戦略を展開する「広域展開営業戦略」を二本柱として推進してまいります。
- ・上記の営業戦略と共に、信用リスクをはじめとしたリスク管理をさらに徹底し、業務運営の両輪としてまいります。

#### (2) 中小企業支援

- ・お客さまとの対話を通じて経営課題を共有し、課題解決型支援や再生支援を実施してまいります。

#### (3) 人的資本

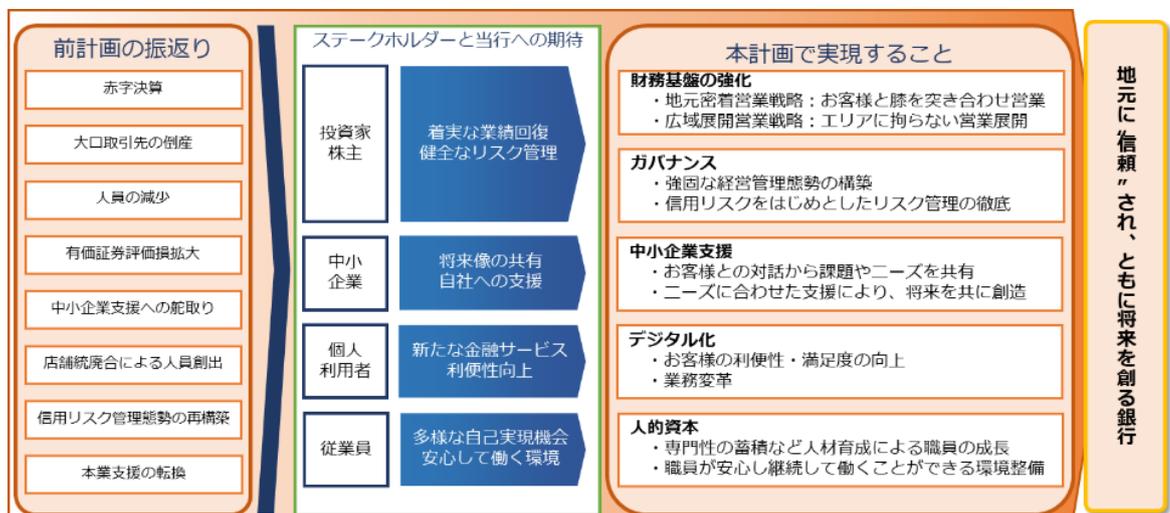
- ・多様化するお客さまのニーズにお応えするため、専門性の高い知識やスキルの習得など、職員の自己成長を促す環境を整備してまいります。
- ・人員体制の整備、人材育成、環境整備により、当行の価値を創造してまいります。

#### (4) ガバナンス

- ・ガバナンス態勢、信用リスクや市場リスクに対して、社外取締役、外部の専門家、SBIグループ、じもとホールディングスの知見と関与を得ながら管理態勢を強化してまいります。

#### (5) デジタル化

- ・手続きの簡略化やWEB取引の拡充を進め、お客さまの利便性向上や満足いただけるサービスの提供を行ってまいります。
- ・SBIグループ連携や若手主体の業務変革プロジェクトにより、効率的な組織運営を実施してまいります。



### 3. 仙台銀行の計画概要

#### 3-1 経営理念と目指す姿

経営理念である「宮城県の中企業の支援・育成」のもと、“人で勝負する銀行”を磨き、宮城県の発展のために、絶えず「チャレンジ」してまいります。

#### 3-2 基本方針と施策 — スピード、挑戦そして進化へ —

##### (1) 中企業向け取引増強

- お客さまのさらなる成長につながる経営支援・預金取引等の総合取引によるソリューションを強化してまいります。
- 半導体工場建設に伴う各種対応について、プロジェクトチームを中心に本部・営業店が一体となって推進し、地方創生につなげてまいります。

##### (2) DXの推進・新分野への取組み

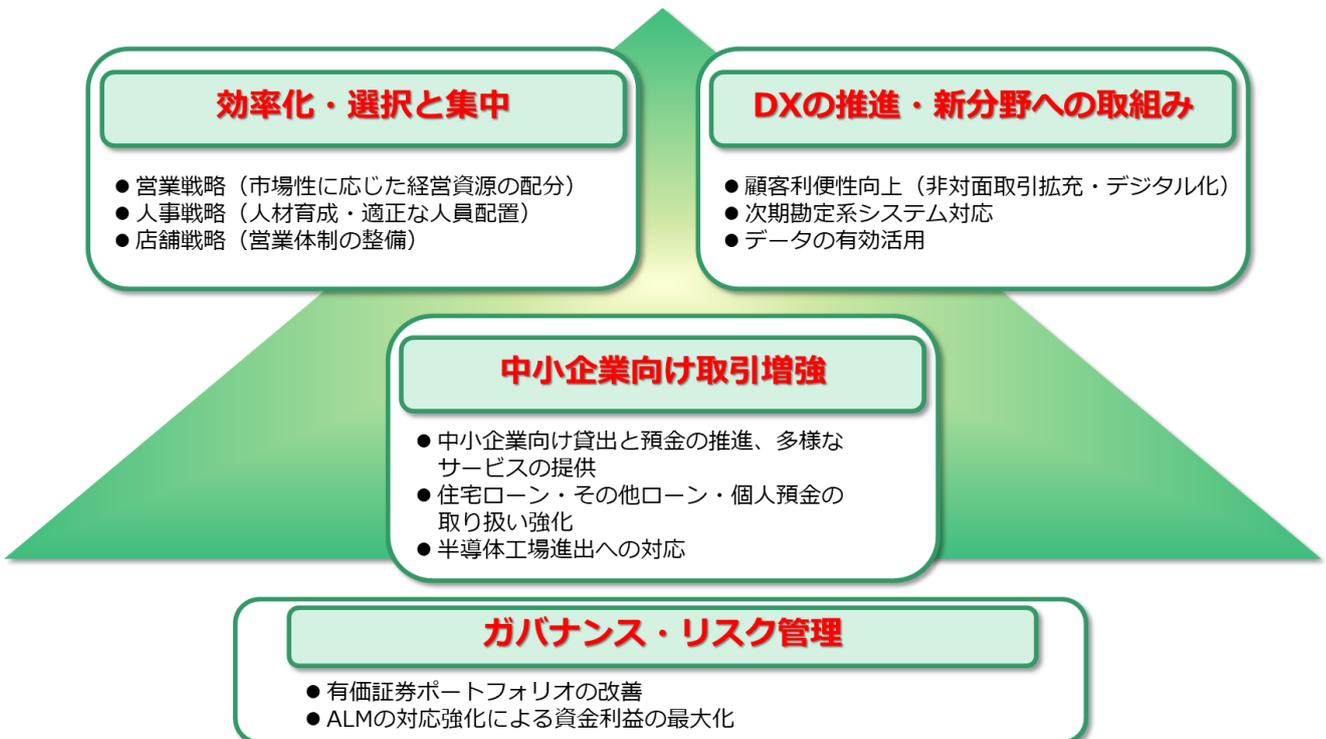
- DXの推進を通じて、お客さまの利便性向上や業務効率化などの施策を実施してまいります。
- 次期勘定系システム更改について方針を決定いたします。

##### (3) 効率化・選択と集中

- OJTや教育体制の整備による人材育成、店舗統廃合、営業体制見直し、業務効率化による人員創出により、営業力を強化し、市場性に応じた適切な人員配置を実施してまいります。

##### (4) ガバナンス・リスク管理

- 適正なリスク管理を行いながら、リスク・収益・資本を勘案した資産配分により、収益力及び健全性の向上を図ってまいります。



#### 4. 収益計画及び経営指標（経営強化計画ベース）

##### 4-1 じもとホールディングス（グループ全体）

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益	48億円	37億円	45億円	52億円	+4億円
経常利益	▲223億円	17億円	23億円	35億円	+259億円
当期純利益	▲234億円	11億円	16億円	27億円	+262億円
貸出金平残	1兆8,873億円	1兆9,173億円	1兆9,546億円	1兆9,847億円	+973億円
預金平残	2兆4,640億円	2兆3,640億円	2兆3,740億円	2兆3,861億円	▲778億円
ROE	▲23.8%	1.0%	1.5%	2.5%	+26.4P
自己資本比率	7.6%	7.4%程度	7.2%程度	7.1%程度	▲0.4P
コアOHR	81.8%	85.3%	82.5%	80.1%	▲1.7P
顧客向けサービス業務利益 ※	36億円	32億円	36億円	43億円	+7億円

##### 4-2 きらやか銀行

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益	28億円	20億円	23億円	25億円	▲2億円
経常利益	▲237億円	2億円	6億円	15億円	+253億円
当期純利益	▲244億円	1億円	4億円	14億円	+258億円
貸出金平残	9,706億円	9,691億円	9,672億円	9,608億円	▲98億円
預金平残	1兆2,322億円	1兆1,200億円	1兆1,200億円	1兆1,200億円	▲1,122億円
ROE	▲56.9%	0.3%	0.9%	2.7%	+59.6P
自己資本比率	7.7%	7.7%程度	7.4%程度	7.3%程度	▲0.3P
コアOHR	80.0%	84.9%	82.5%	80.9%	+0.8P
顧客向けサービス業務利益 ※	19億円	15億円	15億円	17億円	▲2億円

##### 4-3 仙台銀行

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益	19億円	17億円	22億円	27億円	+7億円
経常利益	16億円	13億円	16億円	19億円	+2億円
当期純利益	11億円	8億円	11億円	13億円	+1億円
貸出金平残	9,166億円	9,482億円	9,873億円	1兆238億円	+1,072億円
預金平残	1兆2,317億円	1兆2,440億円	1兆2,540億円	1兆2,661億円	+344億円
ROE	2.1%	1.5%	2.0%	2.3%	+0.2P
自己資本比率	7.7%	7.6%程度	7.5%程度	7.4%程度	▲0.3P
コアOHR	83.9%	85.7%	82.5%	79.3%	▲4.6P
顧客向けサービス業務利益 ※	17億円	17億円	21億円	26億円	+9億円

※ 顧客向けサービス業務利益＝貸出金残高×預貸金利回差+役務取引等利益－営業経費

#### 4-4 利益剰余金と配当方針

- (1) 2024年3月期は、2期連続の大幅な赤字決算に至ったことから、収益力と財務基盤の早期回復に最優先で取り組むため、無配としました。
- (2) 2025年3月期の当社連結の通期業績予想は、黒字回復を予想するものの、普通株式及び各優先株式の配当予想は未定としております。  
なお、利益剰余金の積上げ計画は2025年3月期以降配当を行う前提で記載しております。
- (3) 今後、計画を確実に実行することで、黒字決算への回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。
- (4) 計画の施策を着実に実行することにより、2027年3月末の利益剰余金は、きらやか銀行20億円、仙台銀行209億円、当社グループ合計240億円を積上げる計画です。

##### じもとホールディングス（グループ全体）

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
当期純利益	▲234億円	11億円	16億円	27億円	+262億円
利益剰余金	▲34億円	199億円	213億円	240億円	+274億円

##### きらやか銀行

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
当期純利益	▲244億円	1億円	4億円	14億円	+258億円
利益剰余金	▲222億円	※ 1億円	6億円	20億円	+242億円

※銀行法の規定に従い当局の認可を受けることを条件として、2024年9月末までに資本金及び資本準備金の取崩しを予定しております。これにより、2024年3月期末の繰越損失▲222億円を解消すべく欠損填補を行う予定であり、2025年3月期末の利益剰余金は1億円を計画しております。

##### 仙台銀行

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
当期純利益	11億円	8億円	11億円	13億円	+1億円
利益剰余金	179億円	188億円	197億円	209億円	+30億円

本資料に記載されている収益計画及び経営指標は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以上